より深い学びを実現するための学びの質の向上

～ 多様な他者との協働を生かし、人間ならではの言語活動を重視した活動 ～

01　主題設定の背景

01 学習指導要領改訂の方向性に鑑み、生徒が**生涯学び続ける力**と、**多様な他者と協働し人生を舵取りする力**を、民主的で持続可能な社会の創り手として「みんなで」育む。

02 各教科等の特性を生かし、生徒に付けさせたい**資質・能力の「深まり」**を意識した授業作りを行う。

03 全ての教科等に通底する土壌となる**「言語活動」**を意識した授業作りを進め、**「より深い学び」**の実現と学びの質の向上を図る。

02　授業づくりの視点

- 各教科・道徳・総合的な学習の時間等の特性を生かし、単元の**「キーワードとなる思考力・判断力・表現力」**を明確化する。
- **「読む・書く・話す・聞く」**等の言語活動を、単元の中で有機的に設計する(活動のための活動にしない)。
- **多様な他者との協働**(グループ学習・異年齢・地域人材等)の中で、考えを広げ深める場を設計する。
- 生徒の学びの質を教職員で**言語化し合い**、授業研究・校内研修で相互に評価し合う。

次期学習指導要領の動向　— 論点整理と基盤となる資質・能力

次期学習指導要領等に向けた審議まとめ(令和8年10月)

論点整理(令和7年9月)の**3基盤 ①「主体的・対話的で深い学び」の実装 ②多様性の包摂 ③実現可能性の確保**を継承し、具体化。

基盤となる資質・能力

言語能力・情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」として位置付けられる方向で整理。

研修スケジュール　令和８年度の研修

STEP 01
全体研修
・新学習指導要領の動向（７月）
・３グループに分けた研究授業参観・グループ討議（10月）
・公開研修会（11月）
OJT
・日常OJT（教科間検討）
・メンター部会
・学級経営・授業づくり検討

STEP 02
サキドリ校
先進校事例の検討
CBT実施・検証
英語科でCBT方式での試験問題開発
※CBT：Computer Based Testing

STEP 03
2026年度末
(令和9年3月頃)
学習指導要領の**告示予定**
→次年度へ向けての研究課題策定

STEP 04
令和13年度
全面実施(予定)
中学校での全面実施